ハトダヨ
2018年
6月号

函館市中央図書館だより

編集・発行　函館市中央図書館 指定管理者 TRC 函館グループ
〒040-0001　北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号
TEL（0138）35-5500　FAX（0138）35-5525

第２６号 平成３０年６月１日 発行

予約ランキング

図書館でたくさん予約が入っている本は何か、みなさんはご存知でしょうか。
ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。
ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。

＼平成 30 年５月１日現在，予約回数の多かった本をご案内しています／

1	おらおらでひとりいぐも	若竹　千佐子／著	11	銀河鉄道の父	門井　慶喜／著
2	魔力の胎動	東野　圭吾／著	12	道標	今野　敏／著
3	おもかげ	浅田　次郎／著	13	かるい生活	群　ようこ／著
4	棲月	今野　敏／著	14	マスカレード・ナイト	東野　圭吾／著
5	キラキラ共和国	小川　糸／著	15	駐在日記	小路　幸也／著
6	屍人荘の殺人	今村　昌弘／著	16	蜜蜂と遠雷	恩田　陸／著
7	九十歳。何がめでたい	佐藤　愛子／著	17	路上のＸ	桐野　夏生／著
8	ノーマンズランド	誉田　哲也／著	18	騙し絵の牙	塩田　武士／著
9	かがみの孤城	辻村　深月／著	19	夫の後始末	曽野　綾子／著
10	盤上の向日葵	柚月　裕子／著	20	刑事の怒り	薬丸　岳／著

イベント告知

第２回　郷土の歴史講座　箱館戦争と碧血碑　百五十回忌、追悼・記念講演会
～碧玉の志士たちの 150 回忌～

日時：平成 30 年６月 23 日（土）
　　13 時 30 分～16 時 30 分（開場　13 時）
場所：函館市中央図書館視聴覚ホール
定員 150 名（申込不要・当日受付）
お問合せ：講演会担当・函館碧血会 木村裕俊　電話 0138（55）0384

開架展示紹介

「戊辰戦争 150 年」期間：５月 31 日（木）～６月 28 日（木）

今年は戊辰戦争から 150 年という節目の年になります。函館の歴史を語る上では外す事のできない箱館戦争の他、各地で行われた戦いに関連した資料を集めました。さらに函館や五稜郭に関する知識を深めていただくきっかけになればと思います。

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

棚：児 7～10
請求記号：Eｲｿ

タイトル：**「うるわしの
グリセルダひめ」**

著者：イソール／作，宇野　和美／訳　　出版社：エイアールディー（2014 年 10 月）

絵本といったら子供が読むと思っていませんか？ましてお姫様が主人公なら小さな女の子が大好きな絵本となるでしょう。でも、このお姫様の絵本はちょっと違うんです！主人公のグリセルダ姫の美しさに町中の男性は首ったけになります！そうまさに首だけに！

子供より大人向きのシュールでユニークな絵本。デザインにインパクトがあり残酷的なお話も何故かくすっと楽しく読むことができます。たまには絵本を手に取りませんか？

棚：A19～21
請求記号：726.601 ｴﾎ

タイトル：**「絵本作家６１人の
アトリエと道具」**　出版社：玄光社（2017 年 8 月）

タイトルの通り、今現在活躍している絵本作家さん総勢 61 人の、仕事場と絵を描く際の道具等を紹介している本です。そのうちの長谷川義史さん、いせひでこさん、ヨシタケシンスケさんなど数名の方は作品作りへの想いや、影響を受けた本なども詳しく紹介されています。ご本人が実際に作品を制作されている写真も多数掲載されていて、“あの絵本を描いた作家さんはこんな人だったんだ”とか、“こんな風に描いていたんだなあ”という驚きが。

また、作家さんを知らなくても、美しく撮影されたアトリエや画材道具の写真を眺めるだけでも楽しい一冊です。

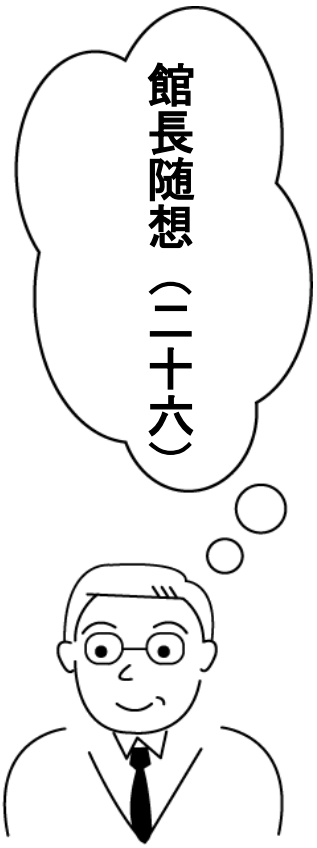
棚：A19～A21
請求記号：726.601 ｶｺ

タイトル：**「かこさとし」**

出版社：平凡社（2017 年 3 月）

「からすのパンやさん」や「だるまちゃん」シリーズなど、こどもの頃に読んだ懐かしい絵本の作家さんです。長年の間にものすごくたくさんの本を出版しているため、巻末の著作リストは 8 ページもあります。かこさんの生い立ちや、色々な方から寄せられた文章、野村萬斎さんとの対談などで紹介されている著作も読んでみたくなります。ちなみに、私のいちおしは「とこちゃんはどこ」です。

館長随想（二十六）



私は若いころ、北海道を回るとあちこちに松浦武四郎の像や碑を見かけて、どういう人なんだろうと思っていました。伝記を読んだのはかなり後でしたが、すごい人なので驚きました。

今年は北海道命名百五十年ということで、名付け親である松浦武四郎の名がクローズアップされています。

函館の図書館は、武四郎に関わる資料の量では有数の図書館です。六度の蝦夷奥地探検の拠点は函館でした。この機会に武四郎の伝記や探検記を読んでみませんか。江戸時代ベストセラーになった「石狩日誌」「十勝日誌」などは現代語訳もあります。

松浦武四郎が、道もできていない蝦夷地、北海道を何度も回り、千島や樺太にまで足を延ばしています。その記録を残してくれたおかげで、幕末の北海道の様子がわかります。

私は、六月二十二日「ＦＭいるか」で松浦武四郎についてお話しすることになっています。お時間のある方はお聞きください。また、武四郎を知りたいけれど何を読んでいいかわからないという方は、中央図書館二階の郷土・レファレンス担当者にご相談ください。

デジタル資料館紹介

アカシヤの花咲く（ｐｈ００３９３２）１９５９年６月

やっと暖かくなってきました。電車に乗って出かけるのもいい季節です。デジタル資料館では他にも懐かしく素敵な写真を公開しています。ぜひご利用ください。

函館の今、昔

図書館を利用される方の多くが函館在住かと思います。
幕末には箱館戦争の舞台にもなり、戦前には大火にも見舞われた函館ですが、意外と自分の住んでいる街の歴史について知らないことも多いのではないでしょうか。
今回は、そんな知っているようで知らない函館について、気軽に親しむことができる本をご紹介します。街歩きの興味がひろがるきっかけに。知らなかった函館、懐かしい函館に出会えるかも！？

～幕末・明治編～ 昔の函館って？

『函館むかし百話』函館市史編さん室／編
珍事・事件・おもしろ出来事 100 話を収録。

『はこだて写真帳』北海道新聞社／編
セピア色の写真の数々。住民の姿が写っているものが多く、当時の暮らしぶりがよくわかります。

『幕末・明治の国際都市ハコダテ』
はこだて外国人居留地研究会「第二の開港」プロジェクト立ち上げチーム
ヴィジュアルたっぷり。豊富な写真や絵図で視覚からたのしく読み解くことができます。

～昭和編～ 懐かしさを感じる！？

『函館昭和ノスタルジー』大鹿 寛／編
昭和時代の華やかな大門地区や、青函連絡船などの写真が満載！

『青函連絡船ものがたり』宮脇 俊三／文　黒岩 保美／絵
80 年にわたる連絡船の歴史を紹介。船旅の様子や、設備までも細かく描かれていて、汽笛の音が聞こえてきそう。こどもから大人までたのしめる絵本。

『函館街並み今・昔』木下 順一／文

『函館の路面電車 100 年』函館市企業局交通部／編

～平成編～ おいしい函館、ご賞味あれ

『乙女の函館雑貨屋＆カフェさんぽ』草苅 いづみ／著
カフェやパン屋さんなど、ぶらりと散歩に出かけたら入ってみたいお店があります。

『青森・函館めぐり』江澤 香織／著

『函館こだわりの美食 GUIDE』でざいんるーむ／著
地元目線で厳選！老舗の名店から穴場まで!! 特別な日のお店選びの参考におすすめです。